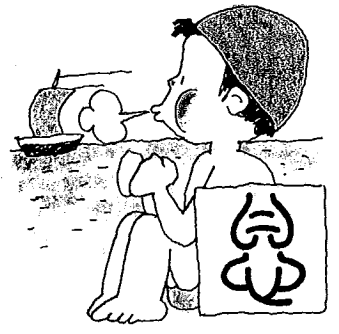


# 息

息 いき ソク

10画 一 白 自 息 息

なりたち 鼻の形をかたどった自と、心臓の意味の心との会意字。「いき」は心臓から鼻を通過して出るものと昔の人は考えていた。「いき(呼吸)」を表した字。転じて、「むすこ」の意味に用いられる。



いみとじゆく(一)  
 ▼いき。  
 嘆息：嘆いて、ため息をつくこと。非常に嘆くこと。  
 窒息：息がつかなくなり、酸素が足りなくなったりして、呼吸が止まること。  
 ▼生きる。生存する。  
 生息：生物が生きて繁殖すること。  
 消息：①なりゆき。例消息通(事情をよく知っている人。)②たより。手紙。  
 ▼やすむ。やめる。  
 休息：仕事などをやめて、休むこと。息を休める意味。  
 終息：すっかりやむこと。  
 ▼むすこ。  
 子息：むすこ。  
 よみかた 息災・息女・安息・吐息・鼻息・利息・令息

息吹・息子 特別なよみかた↓

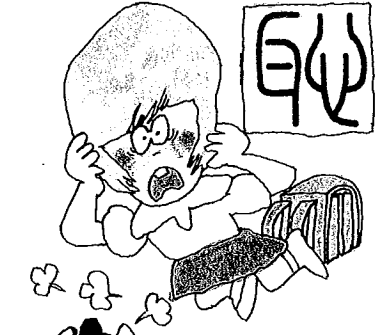
# 息 恥

# 恥

恥 ち おん

10画 一 耳 耳 恥 恥

なりたち 心と耳との会意形声字。外聞の悪い事が耳に入



つて、心に「はずかしい」思うことを表す。「はずかしい」は「じる」こと。また、「面目を失ふ」こと。不名誉に思うこと。

いみとじゆく(一)  
 ▼はずかしい。はじる。  
 恥辱：はじ。不名誉。用例辱を受ける。  
 無恥：恥を知らないこと。恥知らず。例厚顔無恥  
 廉恥：心が清らかで、恥を知っていること。例破廉恥(恥を知らないこと。)

さんこう 恥の上塗り(恥ずかしいことをして、その上を重ねて恥ずかしいことをすること。恥をかく)恥ずかしいことをして、他の人に対して面目を失うこと。恥を知る(恥ずべき事を恥と思う)気持ち取も外聞もない(恥や評判をまったく気にかけないこと。恥じ入る)たいへん恥ずかしく思う。

# 憩

憩 おん ケイ

16画 ニ 舌 舌 舌 憩 憩

なりたち 活の意味の舌(か)と、息との会意形声字。働いて息苦しくなったのをひと休



いみとじゆく(一)  
 ▼いこ。ひと休みする。  
 休憩：ひと休みすること。元気をとりもどすために休むこと。  
 小憩：わずかな休憩。少しの休み。「少憩」とも書く。

# 恵

恵 おん ケイ・エ

10画 一 冫 冫 宙 恵 恵

なりたち 旧字体は恵。専(せん)の今(いま)の字体は専の意味の専と心との会意字。心を専らにして(一途(いち)に打ち込んで)人に情けをかけることを表した



いみとじゆく(一)  
 ▼めぐむ。  
 恵沢：深い恵み。恩恵。  
 恵雨：恵みの雨。長く日照りが続いた時に降る雨。  
 恵贈：恵み与えること。人から贈与される場合に使う敬語。

よみかた 恵愛・恵与  
 知恵：智慧(ち)の代用語。知識を活用して物事をうまく処理する能力。仏教では、迷いを去って悟りに至る力という。

# 憩 恵